


建物概要					
建物名称	キャナルスクエア芝浦	敷地面積	350 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都港区	建築面積	190 m ²	評価の実施日	2025年11月5日
用途地域	準工業地域、防火地域	延床面積	1394.87 m ²	作成者	若山 香保
建物用途	事務所	階数	地上8F	不動産評価員番号	ふ-001182-27
竣工年月	1987年6月10日	構造	SRC造	確認日	2025年11月5日
直近の大規模改修実施年月	-	平均居住人員	85 人	確認者	若山 香保
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001182-27

評価結果									
74.9 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78			取組項目数：A1-A5		B1,B3-B5	
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★		≧	60						
B ランク:★★		≧	50						
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
						B6-B6			
								C1-C4	

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点点	指標	(*)は参考値	評価値	
適合	必須項目	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制			
1.0	加点点 1	根拠等	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定、テナントと共同での省エネの取組	一次エネルギー(目標値)	1,234 MJ/m ² ・年
21.5	25	1.1 使用・排出原単位(計算値)		一次エネルギー(計画値)	1,246.3 MJ/m ² ・年
		根拠等	実績値より	二次エネルギー(*)	127.7 kWh/m ² ・年
				GHG排出量(*)	54.8 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)		一次エネルギー(実績値)	1,246.3 MJ/m ² ・年
		根拠等	エネルギー消費量実績値一覽参照	二次エネルギー(*)	127.7 kWh/m ² ・年
			二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	GHG排出量(*)	54.8 kg-CO _{2eq} /m ² ・年
	0	1.3 省エネルギー(仕様評価)	評価しない		
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)			
		根拠等	導入していない	利用率	%
29.5	35	合計			

2. 水					
評価	最大加点点	指標		評価値	
適合	必須項目	:目標設定、モニタリング、運用管理体制			
3.0	5	根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(目標値)	918.0 L/m ² ・年
		2.1 水使用量(計算値)		水使用量(計画値)	898.0 L/m ² ・年
	0	根拠等	算定シートより		
3.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)	評価しない		
		2.3 水使用量(実績値)		水使用量(実績値)	927.3 L/m ² ・年
		根拠等	水使用量実績値一覽参照		
6.0	10	合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点点	指標		評価値	
適合	必須項目	:新耐震基準への適合またはIs値、If値			
3.0	5	根拠等	新耐震基準に適合	なし	
3.0		3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
		3.1.1 耐震性			
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	導入していない		
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制			
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	使用していない	リサイクル材品目数(非構造材)	4 品目
5.0		② 非構造材料	リサイクル材を使用している		
		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		経過年数＋今後の想定耐用年数	20 年
		根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
1.7	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		更新年数の平均値	年
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		自給率向上の取組数	項目
		根拠等	計算式参照		
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		維持管理に関する取組数	ポイント
		根拠等	特になし		
1.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	特になし		
1.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	特になし		
11.8	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点点	指標		評価値	
適合	必須項目	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない			
10.0	10	根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用してい	なし	
4.2対象外の時は点数を倍)		4.1 生物多様性の向上		②取組表による場合のポイント数	3 ポイント
0.0	0	根拠等	1)、3)、5)		
[対策不要は対象外]		4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生		なし	
5.0	5	根拠等	土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない		
5.0		4.3 公共交通機関の接近性			
		4.3.1 公共交通機関の接近性		鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内
		根拠等	田町駅 徒歩5分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
2.0	5	4.4 自然災害リスク対策		リスクの合計数	4 種類
		根拠等	該当リスクが4種で、1種について有効な防災対策を実施している		
17.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点点	指標		評価値	
適合	必須項目	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合			
		根拠等	空気環境測定の実施記録有	なし	
3.6	5	5.1 星光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3		
4.0		5.1.1 自然採光		開口率	17.2 %
		根拠等	計算式参照		
3.0		5.1.2 星光利用設備		星光利用設備	種類
		根拠等	星光利用設備がない		
4.0	5	5.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積	5.2 m ²
		根拠等	計算式参照		
3.0	5	5.3 眺望・視環境		天井高	2.5 m以上
		根拠等	事務室の天井高2.5m以上となっており、かつ、すべての執務者が十分な屋外の情報を得られるように窓が設置されている		
10.6	15	合計			

6. ホールライフカーボンの評価【任意】					
評価	最大(加点点なし)	指標		評価値	
5		取組数	A1-A5		項目
↑ 評価しない場合は空欄			B6-B7		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目

